

2000年代 社団法人山形青年会議所 運動指針 「アクティブバランス都市山形」

社団法人山形青年会議所は、バランスのとれた誇りあるまちと人づくりを目指し、新世紀山形の創造エンジンとなる事業と運動を実施します。

90年代後半から続く混迷の時代の中、今や日本社会はさらに大きな転換を多方面から迫られています。

このような激動のうちに、21世紀を迎える私達のふるさと山形にとっても、その大きな時代の波の中にあって、このまちの将来を、みんなで今一度考えるべき重要な時であります。

私達社団法人山形青年会議所は、ふるさと山形を愛する者達として、このまちがアクティブバランス都市山形となるよう、運動を展開することを2000年代の運動指針といたします。

持続可能なバランスのとれたまち 山形

高度成長期の日本は、驚異的な経済発展をとげ、国民の生活水準は飛躍的に向上しました。

しかし、そうした正の遺産を受け継いできた私達にとって、その水準を維持しながらも、高度成長の犠牲とされてきた環境問題や、子ども達の心の問題などをはじめとする、負の遺産を解消していくことが使命とされていることも事実であります。

住みやすいまち山形の実現には、施設や交通、そして住宅などのハード面の充実だけではなく、子ども達の健全な心の成長という、ひとづくりをはじめとする、ソフト面へのしつかりとした対応が必要であり、その両面のバランスのとれた発展が、将来に渡って持続可能なバランスのとれたまちづくりにつながると考えるものであります。

アクティブバランス都市山形

わたくしたちは、これからのまちづくりに必要なバランス感覚を次の点から、「アクティブバランス」と名づけました。

① 個人個人が主体的にかかわること → 積極性 = アクティブ

優れたバランス感覚をもって、よりすばらしいふるさと山形をつくり上げるには、その原動力が必要であります。

わたしたちは、その原動力は、市民ひとりひとりであると考えます。

単にバランスとれた、良いまちを目指すだけではなく、よいまちをつくることに、市民ひとりひとりが、自ら主体性を持って積極的にかかわることが、すなわち本当に私達が目指すべきまちづくりであると考えからであります。

② 自らが常に運動を続けることによって保つ均衡 → 活動的 = アクティブ

バランスのとれたまちづくりを推進することは、やじろべえのように、一点の支点到に留まり、揺れ動くことでバランスをとることではなく、自らが常に動くことによってバランスを保つ、時代のジャイロコンパス（回転羅針儀）としてのバランス感覚であります。

③ 勇気ある再構築 → 能動性 = アクティブ

あらゆる面で変革を迫られているこの時代に、わたくしたちは、勇気ある再構築をはからなくてはなりません。

再構築の意味するところは、構築するには機能を果たさなくなった社会システムやルールを、勇気と確信を持ってスクラップ化していく必要があるということであり、

私達が考えなくてはならないバランス

私達が山形をよりすばらしいまちにしていくために、その均衡をはからなくてはならない項目を次のように考えます。

<まちの環境>

- *資源の消費と再生産のバランス
- *自然環境と都市機能のバランス

<生き生きとした市民がすむまち>

- *経済活動と余暇のバランス
- *個性輝く心のバランス
- *教育・文化のバランス

<行政体としてのまち>

- *収入と支出のバランス
- *中央と地域主権のバランス
- *民間と行政の役割バランス

「新山形創造エンジン」

社団法人山形青年会議所の役割

私達山形青年会議所は、創立45周年を迎えるにあたり、過去の運動実績への「反省」と「評価」の両面からの見地にたち、激動する時代に先駆け、時代に反応した新しいバランス感覚を持って、社会のあらゆる分野に対応し、新時代のビジョンをいち早く提示するための運動を展開いたします。

ひとりひとりが主体性を持ってまちづくりに参加していくという、この方向性は、また、「個人のパワーアップ＝人間力」「個が輝くことによって公が輝く」といった、(社)日本青年会議所の掲げる2000年代運動指針とも、その目的を異にすることのない、むしろ、その運動指針を山形に住むわたくしたちが、わたくしたちらしく展開することにつながると思うものであります。

若者らしい好奇心を持って先駆的に運動に取り組み、また、多くの専門機関やNPO団体との連絡役として、それらと有機的に連携し協力することで、時代の流れや環境全体を俯瞰しながらも、時には専門的に深く運動を進めていきます。

私達の運動は、新しい事に積極的に突き進む、「原動力＝エンジン」になることであり、IT革命時代における、「検索機関＝サーチエンジン」であると確信するものであります。

私達、社団法人山形青年会議所は、21世紀への新しい山形を創造するための「エンジン」とならんことをここに宣言いたします。

山形青年会議所活動のチェックポイント

まちづくりの原動力・検索機関としての運動を展開するべく、山形青年会議所は、事業実施において、次のチェックポイントを設定し、機会あるごとにその規範にあてはめ、検討を加えるものとします。

<まちのために>

- *市民に喜ばれる事業ですか？
- *市民のためになる事業ですか？
- *環境バランスに配慮した事業ですか？
- *行政との連携を考慮しましたか？
- *関係諸団体とのネットワークをはかりましたか？

<JCメンバーのために>

- *委員会全員が参加し、役割は明確ですか？
- *メンバーのトレーニングになっていますか？
- *最低月1回の委員会は開催されていますか？

<山形JCのために>

- *運動指針の趣旨に合っていますか？
- *委員会・室・事務局との連携はとれていますか？
- *山形JCの運動レベルを持続可能とする人材育成は進んでいますか？

2000年、そして創立45周年という記念すべき年にあたり、私達山形青年会議所は、変革の能動者たれんとする青年として、新世紀に新しい山形を創造するために、バランスのとれた誇りあるまちと人づくりを目指し、「アクティブバランス都市山形」実現のため、躍動するエンジンとなって運動を展開してまいります。

(社)山形青年会議所2000年代運動指針

*「アクティブバランス都市山形」の考え方

